(案)
業 務 契 約 書

支出負担行為担当官 東北森林管理局長 大政 康史（以下「発注者」という。）と〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇 〇〇（以下「受注者」という。）は、令和7年度国有林林道施設点検管理業務（岩手県）（以下「業務」という。）について、次の条項により契約を締結する。

契 約 条 項

（実施する業務）

第1条 発注者は、次の業務の実施を受注者と契約し、受注者はその成果を発注者に報告するものとする。

（1）業務名 令和7年度国有林林道施設点検管理業務（岩手県）

（2）業務の内容等

国有林林道施設点検管理業務仕様書（以下「仕様書」という。）及び令和7年度国有林林道施設点検管理業務（岩手県）内訳書（以下「内訳書」という。）のとおり。

（3）履行期間

契約締結の翌日から令和8年3月19日まで

（業務の遂行）

第2条 受注者は、契約した業務を仕様書および内訳書に記載された内容に従って実施しなければならない。当該内容を変更したときも同様とする。

（契約金額）

第3条 発注者は、業務に要する費用として、金 〇〇〇〇〇〇〇〇 円（うち消費税及び地方消費税額 金 〇〇〇〇〇〇 円）を支払うものとする。受注者は、契約した金額を内訳書に記載された以外に使用してはならない。

2 当該内容を変更するときは、第15条の定めによる。

（契約保証金）

第4条 会計法（昭和22年法律第35号）第29条の9第1項に規定する契約保証金の納付は、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第100条の3第3号の規定により免除する。

（再委託の制限）

第5条 受注者は、この業務達成のため、業務の一部を第三者に委託し、又は請け負わせること（以下「再委託」という。）を必要とするときは、あらかじめ発注者の承認を得なければならない。

2 受注者は、前項の再委託の承認を受けようとするときは、当該第三者の氏名又は名称、住所、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額について記載した書面を発注者に提出しなければならない。

- 3 受注者は、前項の書面に記載した事項を変更しようとするときは、あらかじめ、発注者の承認を得なければならない。
- 4 再委託する業務が業務を行う上で発生する事務的業務であって、再委託する金額が第3条に規定する金額の限度額 50 パーセント以下であり、かつ、100 万円以下である場合には、軽微な再委託として前各号の規定は適用しない。

(業務計画書の提出)

第6条 受注者は、この契約締結後 14 日以内に仕様書及び内訳書に基づいて、業務計画書を発注者に提出しなければならない。

(完了報告)

第7条 受注者は、業務が終了したとき（事業を中止し、又は廃止した時を含む。）は、業務の結果を記載した完了報告書及び関係付属書類を発注者に提出するものとする。

(検査)

第8条 発注者は、前条に規定する報告書の提出を受けたときは、遅滞なく、当該業務が契約の内容に適合するものであるかどうかを関係書類又は実地により検査を行うものとする。

第9条 発注者は、前条に規定する検査の結果、当該業務が契約の内容に適合すると認めたときは、受注者に対して通知するものとする。

(契約金額の支払)

第10条 発注者は、前条の規定により、受注者からの適法な請求書を受理した日から 30 日以内にその支払を行うものとする。

- 2 発注者は、受注者の請求により、必要があると認められる金額については、前項の規定にかかわらず、部分払をすることができるものとする。
- 3 受注者は、前項の部分払を請求するときは、部分払請求書を発注者に提出するものとする。
- 4 発注者の責めに帰すべき事由により、第1項（第2項において準用する場合を含む。）の規定による請負代金の支払いが遅れた場合においては、受注者は、未受領金額につき、遅延日数に応じ、政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和 24 年法律第 256 号。以下「支払遅延防止法」という。）第8条第1項の規定により決定された率を乗じて計算した額の遅延利息の支払いを発注者に請求することができる。

(前金払)

第11条 受注者は、保証事業会社と、契約書記載の業務完了の時期を保証期限とする公共工事の前払金保証事業に関する法律第2条第5項に規定する保証契約（以下「保証契約」という。）を締結し、その保証証書を発注者に寄託して、請負代金額の 10 分の 3 以内の前払金の支払いを発注者に請求することができる。

- 2 発注者は、前項の規定による請求があったときは、請求を受けた日から 14 日以内に前払金を支払わなければならない。

- 3 受注者は、請負代金額が著しく増額された場合においては、その増額後の請負代金額の10分の3から受領済みの前払金額を差し引いた額に相当する額の範囲内で前払金の支払いを請求することができる。この場合においては、前項の規定を準用する。
- 4 受注者は、請負代金額が著しく減額された場合において、受領済みの前払金額が減額後の請負代金額の10分の4を超えるときは、受注者は、請負代金額が減額された日から30日以内にその超過額を返還しなければならない。ただし、この項の期間内に第37条の規定による支払いをしようとするときは、発注者は、その支払額の中からその超過額を控除することができる。
- 5 前項の期間内で前払金の超過額を返還する前にさらに請負代金額を増額した場合において、増額後の請負代金額が減額前の請負代金額以上の額であるときは、受注者は、その超過額を返還しないものとし、増額後の請負代金額が減額前の請負代金額未満の額であるときは、受注者は、受領済みの前払金の額からその増額後の請負代金額の10分の4の額を差し引いた額を返還しなければならない。
- 6 発注者は、受注者が第4項の期間内に超過額を返還しなかったときは、その未返還額につき、同項の期間を経過した日から返還をする日までの期間について、その日数に応じ、支払遅延防止法第8条第1項の規定により決定された率を乗じて計算した額の遅延利息の支払いを請求することができる。

(保証契約の変更)

- 第12条 受注者は、前条第3項の規定により受領済みの前払金に追加してさらに前払金の支払いを請求する場合には、あらかじめ、保証契約を変更し、変更後の保証証書を発注者に寄託しなければならない。
- 2 受注者は、前項に定める場合のほか、請負代金額が減額された場合において、保証契約を変更したときは、変更後の保証証書を直ちに発注者に寄託しなければならない。
 - 3 受注者は、前払金額の変更を伴わない履行期間の変更が行われた場合には、発注者に代わりその旨を保証事業会社に直ちに通知するものとする。

(前払金の使用等)

- 第13条 受注者は、前払金をこの業務の材料費、労務費、外注費、機械購入費（この業務において償却される割合に相当する額に限る。）、動力費、支払運賃及び保証料に相当する額として必要な経費以外の支払いに充当してはならない。

(業務の中止等)

- 第14条 受注者は、天災地変その他やむを得ない事由により、業務の遂行が困難となったときは、業務中止（廃止）申請書を発注者に提出し、発注者及び受注者が協議の上、契約を解除し、又は契約の一部変更を行うものとする。
- 2 前項の規定により契約を解除するときは、第8条から第10条の規定に準じ精算するものとする。

(業務の変更)

第 15 条 発注者は、前条に規定する場合を除き、仕様書及び内訳書に記載された業務の内容を変更することができる。

2 前項の場合に、契約金額又は履行期限を変更する必要があるときは、発注者及び受注者が協議して契約の変更を行うものとする。

3 第 1 項の場合において受注者が損害を受けたときは、発注者はその損害を賠償するものとし、賠償額については、発注者及び受注者が協議して定めるものとする。

(契約の解除等)

第 16 条 発注者は、受注者がこの契約に違反した場合は、契約を解除し、又は変更し、及び既に支払った金額の全部又は一部の返還を受注者に請求することができる。

(違約金)

第 17 条 発注者は、前条の規定により契約を解除するときは、受注者に対し、違約金として契約金額の 100 分の 10 に相当する額を請求することができる。

(業務内容の調査)

第 18 条 発注者は、必要に応じ、受注者に対し、事業の実施状況、経費の使途その他の必要な事項について所要の調査報告を求め、又は実地に調査することができるものとし、受注者はこれに応じなければならないものとする。

(帳簿等)

第 19 条 受注者は、前項の帳簿及びその支出の内容を証する証拠書類を、業務終了の年度の翌年度から 5 年間保管しなければならない。

(秘密の保持等)

第 20 条 受注者は、この業務に関して知り得た業務上の秘密をこの契約期間にかかわらず第三者に漏らしてはならない。

(談合等の不正行為に係る解除)

第 21 条 発注者は、この契約に関し、受注者が次の各号の一に該当するときは、契約の全部又は一部を解除することができる。

(1) 公正取引委員会が、受注者又は受注者の代理人に対して私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和 22 年法律第 54 号。以下「独占禁止法」という。)第 7 条又は第 8 条の 2(同法第 8 条第 1 号又は第 2 号に該当する行為の場合に限る。)の規定による排除措置命令を行ったとき、同法第 7 条の 2 第 1 項(同法第 8 条の 3 において読み替えて準用する場合を含む。)の規定による課徴金納付命令を行ったとき又は同法第 7 条の 2 第 18 項若しくは第 21 項の規定による課徴金の納付を命じない旨の通知を行ったとき。

(2) 受注者又は受注者の代理人(受注者又は受注者の代理人が法人にあっては、その役員又

は使用人を含む。)が刑法(明治40年法律第45号)第96条の3若しくは第198条又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号の規定による刑の容疑により公訴を提起されたとき。

- 2 受注者は、この契約に関して、受注者又は受注者の代理人が前項各号に該当した場合には、速やかに、当該処分等に係る関係書類を発注者に提出しなければならない。

(談合等の不正行為に係る違約金)

第22条 受注者は、この契約に関し、次の各号の一に該当するときは、発注者が前条により契約の全部又は一部を解除するか否かにかかわらず、契約金額の100分の10に相当する額を違約金として甲が指定する期日までに支払わなければならない。

(1) 公正取引委員会が、受注者又は受注者の代理人に対して独占禁止法第7条又は第8条の2(同法第8条第1号又は第2号に該当する行為の場合に限る。)の規定による排除措置命令を行い、当該排除措置命令が確定したとき又は同法第66条第4項の規定による審決において、同法の規定に違反する行為があった旨が明らかにされたとき。

(2) 公正取引委員会が、受注者又は受注者の代理人に対して独占禁止法第7条の2第1項(同法第8条の3において読み替えて準用する場合を含む。)の規定による課徴金納付命令を行い、当該納付命令が確定したとき又は同法第66条第4項の規定による審決において、同法の規定に違反する行為があった旨が明らかにされたとき。

(3) 公正取引委員会が、受注者又は受注者の代理人に対して独占禁止法第7条の2第18項又は第21項の規定による課徴金の納付を命じない旨の通知を行ったとき。

(4) 受注者又は受注者の代理人(受注者又は受注者の代理人が法人にあっては、その役員又は使用人を含む。)に係る刑法第96条の3若しくは第198条又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号の規定による刑が確定したとき。

- 2 受注者は、前項第4号に規定する場合に該当し、かつ次の各号の一に該当するときは、前項の契約金額の100分の10に相当する額のほか、契約金額の100分の5に相当する額を違約金として発注者が指定する期日までに支払わなければならない。

(1) 前項第2号に規定する確定した納付命令について、独占禁止法第7条の2第6項の規定の適用があるとき。

(2) 前項第4号に規定する刑に係る確定判決において、受注者又は受注者の代理人(受注者又は受注者の代理人が法人にあっては、その役員又は使用人を含む。)が違反行為の首謀者であることが明らかになったとき。

(3) 受注者が発注者に対し、独占禁止法等に抵触する行為を行っていない旨の誓約書を提出しているとき。

- 3 受注者は、契約の履行を理由として、前2項の違約金を免れることができない。

- 4 第1項及び第2項の規定は、発注者に生じた実際の損害の額が違約金の額を超過する場合において、発注者がその超過分の損害につき賠償を請求することを妨げない。

(暴力団排除に関する特約条項)

第 23 条 別紙 1 のとおり

(疑義の解決)

第 24 条 この契約書に定めのない事項については、必要に応じ発注者及び受注者が協議の上、定めるものとする。

上記の契約について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び仕様書によって公正な業務契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の証として本契約書 2 通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自 1 通を保有するものとする。

令和 7 年 月 日

(発注者) 秋田県秋田市中通 5 丁目 9-16
支出負担行為担当官
東北森林管理局長 大政 康史

(受注者)

暴力団排除に関する特約条項

(属性要件に基づく契約解除)

第1条 甲（発注者をいう。以下同じ。）は、乙（契約の相手方をいう。以下同じ。）が次の各号の一に該当すると認められるときは、何らの催告を要せず、本契約を解除することができる。

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

(行為要件に基づく契約解除)

第2条 甲は、乙が自ら又は第三者を利用して次の各号の一に該当する行為をした場合は、何らの催告を要せず、本契約を解除することができる。

- (1) 暴力的な要求行為
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
- (4) 偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為
- (5) その他前各号に準ずる行為

(表明確約)

第3条 乙は、第1条の各号及び第2条各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを確約する。

2 乙は、前2条各号の一に該当する行為を行った者（以下「解除対象者」という。）を再請負人等（再請負人（再請負が数次にわたるときは、全ての再請負人を含む。）、受任者（再委任以降の全ての受任者を含む。）及び再請負人若しくは受任者が当該契約に関して個別に契約する場合の当該契約の相手方をいう。以下同じ。）としないことを確約する。

(再請負契約等に関する契約解除)

第4条 乙は、契約後に再請負人等が解除対象者であることが判明したときは、直ちに当該再請負人等との契約を解除し、又は再請負人等に対し当該解除対象者（再請負人等）との契約を解除させるようにしなければならない。

2 甲は、乙が再請負人等が解除対象者であることを知りながら契約し、若しくは再請負人等の契約を承認したとき、又は正当な理由がないのに前項の規定に反して当該再請負人等との契約を解除せず、若しくは再請負人等に対し当該解除対象者（再請負人等）との契約を解除させるための措置を講じないときは、本契約を解除することができる。

(損害賠償)

第5条 甲は、第1条、第2条及び前条第2項の規定により本契約を解除した場合は、これにより乙に生じた損害について、何ら賠償ないし補償することは要しない。

2 乙は、甲が第1条、第2条及び前条第2項の規定により本契約を解除した場合において、甲に損害が生じたときは、その損害を賠償するものとする。

(不当介入に関する通報・報告)

第6条 乙は、自ら又は再請負人等が、暴力団、暴力団員、社会運動・政治運動標ぼうゴロ等の反社会的勢力から不当要求又は業務妨害等の不当介入（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、これを拒否し、又は再請負人等をして、これを拒否させるとともに、速やかに不当介入の事実を甲に報告するとともに、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うものとする。

国有林林道施設点検管理業務仕様書

1. 目的

本業務は、国有林林道において、交通安全確保の視点に立った林道施設の状況、交通安全施設の整備状況等に関する調査・点検を行い、林道交通安全対策に万全を期することを目的とする。

2. 一般事項

本業務は、林道を構成する路体（橋梁・擁壁等の構造物を含む）、排水施設、法面、標識類等について総合的に点検を行うことを基本とする。

点検は目視以外に、構造物等の異常、破損等状況の有無を把握するために、必要に応じて点検ハンマー、ノギス、スラントルール、リボンロッド、ポール等の点検器具を使用するなどし、点検結果をより具体的に取りまとめられるよう点検すると共に、点検した内容を林道等調査・点検野帳（様式7）により取りまとめ、点検結果の分析及び対応策、技術的提案の検討結果等について報告を行う。

また、記録写真にはテープ表示し、詳細部は写真を拡大するなどわかりやすくすること。

本業務は、別添1「国有林林道施設点検管理業務 内訳書」及び本仕様書に基づき実施するものとし、内訳書及び本仕様書に該当する事項について森林管理局及び各森林管理（支）署と各々十分に打ち合わせを行うものとする。

3. 点検調査内容等

(1) 調査対象路線

調査対象路線は、別添2「国有林林道施設点検管理業務 対象路線」によるものとする。

(2) 施設点検調査

①路面、路体の状況

降水及び浸透水等により、陥没、流出、崩壊や風倒木等の発生している箇所がないか、また、それらが発生する恐れがないかについて調査する。

②法面の浮石、崩壊等の状況

降水及び浸透水等により、法面に浮石や崩壊が発生していないか、また、発生する恐れがないか調査する。

③橋梁のコンクリートや鋼材の劣化状況

橋台等にクラック、劣化、破損等の発生箇所がないか、また、発生する恐れがないか対象路線内の全ての橋梁について調査する。なお、調査結果の詳細については、橋梁点検調査表（様式9）に記載すること。

④擁壁の安定状況等及び法面保護工（落石防止網等）機能の発現等の状況

亀裂、劣化、転倒、網の損傷等の発生箇所がないか、また、発生する恐れがないか調査する。

⑤溝渠・暗渠の管及び呑口、吐口の状況

流下した土砂、立木、枝条等により閉塞及び損傷の発生箇所がないか、また、発生する恐れがないか対象路線内の全ての溝渠・暗渠について調査する。なお、調査結果の詳細については溝渠点検調査票（様式8）に記載すること。

⑥安全施設、安全標識の設置等の状況

視界不良の原因となる草本類、カーブミラーの損傷や傾きなどの箇所はないか、また、発生する恐れがないか調査する。併せて、視界確保及び安全走行上必要な施設を調査する。

(3) 対策の検討

調査結果を取りまとめ、林道交通安全の観点から、林道施設の維持管理及び安全施設の整備等について、当面必要な対策及び中長期的な対応について提案をする。

(4) 豪雨等により林道が損傷し車両の通行が不能となった場合には、その地点を調査の終点とする。

(5) その他維持管理

点検調査の際、対応可能な軽微な林道施設の維持管理及び安全施設の整備等について、必要に応じて補修及び刈り払いを行うこととする。

4. 調査報告書等

外業（点検作業）が終了したときは、点検延長や点検施設数等、実行数量についてとりまとめ、速やかに監督職員へ報告すること。

調査結果をとりまとめ、業務実施結果報告書を作成する。業務実施結果報告書には、業務日誌、林道等調査・点検野帳等及び点検写真帳を添え、報告内容に林道施設の維持管理及び安全施設の整備等に関する当面必要な対策及び中長期的な対応についての提案を含むものとする。作成部数は、紙及び電子媒体でそれぞれ2部（1部は署単位で作成）とする。

作成が完了したら、対象路線を管轄する森林管理署等の林道担当者へ業務実施結果報告書により調査結果等を報告、確認を受け、対象全署からの確認を受けたら、局へ完了報告書を添え業務実施結果報告書を提出するものとする。

また、点検調査の際、森林管理局、署等が別途中間報告を求める場合がある。

5. その他

自然災害等の不測の事態が発生した場合にあっては、森林管理局署等が別途指示を行う場合がある。

滞在して業務を行う場合の宿泊費の取扱いについて、宿泊費は、原則として「調査、測量、設計及び計画業務旅費交通費積算要領の制定について」（平成28年3月31日付け27林整計第367号林野庁森林整備部長通知）に準じて積算、また設計変更するものとする。宿泊費基準額を上限とした実費支給であり、設計変更時に官積算額と実費額の比較をおこなうことから、設計変更時点までに宿泊実績報告書（様式1）及び実際に支払った証明書類（領収書等）を監督職員に提出するものとする。

様式1

宿泊実績報告書				
滞在期間	宿泊日数 (日)	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
R7. 4. 1～4. 7	6	10,000	60,000	
R7. 5. 1～5. 6	5	12,000	60,000	
計	11		120,000	

林道の位置の確認や資料作成のための貸与図面として国有林野施業実施計画図を下記に示す東北森林管理局ホームページの該当ページからダウンロードできるので必要に応じて利用すること。

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/keikaku/kokuyuurinzumen.html>

別添1

令和7年度 国有林林道施設点検管理業務(岩手県)内訳書

業務	数量	単位	備考
施設点検管理業務	1	式	
施設点検	150	路線	別添2 対象路線のとおり
報告書作成	2	部	電子データ含む
計			

署等	林道名	点検延長(m)	点検施設			点検時間	移動距離(m)			点検対象橋梁等	備考
			橋梁等	溝渠	その他		高速道路	一般道	林道		
三陸北部署	十二神藤畑	917	0	3	0	0.31		9,700	917	10,617	藤畑側0.9kmまで通行可
	赤前	3,828	0	11	2	1.27		3,200	3,828	7,028	
	白浜	2,100	0	6	1	0.69		7,800	2,100	9,900	入口から2.1kmまで通行可
	麦生野	700	0	2	0	0.21		3,800	700	4,500	起点から0.7kmまで通行可
	古畑	3,560	0	11	2	1.25		4,400	3,560	7,960	
	十二神重茂	1,810	0	5	1	0.59		1,700	1,810	3,510	重茂側から1.8kmまで通行可
	奥十二神	700	1	2	0	0.55		0	700	700	開渠橋
	与奈(山)	706	0	2	0	0.21		600	706	1,306	起点から0.7kmまで通行可
	石浜	1,400	1	4	1	0.81		6,900	1,400	8,300	上石浜橋
	半崎	2,570	0	8	1	0.89		23,300	2,570	25,870	
	鯨山	4,004	0	12	2	1.37		9,800	4,004	13,804	
	馬指野	300	1	1	0	0.44		7,700	300	8,000	桃ノ木橋
	外山	2,148	0	6	1	0.69		7,200	2,148	9,348	
	大滝沢	690	0	2	0	0.21		0	690	690	
	朴ノ木沢	700	1	2	0	0.55		0	700	700	朴ノ木沢橋
	落合	2,620	3	8	1	1.89		2,600	2,620	5,220	アオノスミ橋、家ノ向沢橋、根谷沢橋
	不動山	7,400	8	22	4	5.19		8,500	7,400	15,900	千体沸橋、五堂城橋、荒畑橋、宿ヶ平橋、馬止め橋、岩の渡り橋、上坂橋、向渡橋
	関口小川	1,727	1	5	1	0.92		0	1,727	1,727	加音橋
	豊間根	10,000	7	30	5	5.75		11,600	10,000	21,600	小種地橋、大種地橋、ノボト橋、オソノエラノ橋、岩谷沢橋、子コエ沢橋、下杉沢橋
	ヒノ沢	541	0	2	0	0.20		0	541	541	
	小種地沢	500	1	2	0	0.53		0	500	500	小種地橋
	大種地沢	1,000	2	3	1	1.03		0	1,000	1,000	大谷橋、十三年橋
	オソノエラノ沢	200	1	1	0	0.43		0	200	200	不動明王橋
	小川	4,000	9	12	2	4.37		1,400	4,000	5,400	ヨクサ内橋、城戸ヶ沢橋、富月橋、下トヤノ橋、アヅラク橋、桃ノ木橋、上七日畑橋、ヘボタ橋、赤松沢橋
	長内沢	1,950	0	6	1	0.68		6,000	1,950	7,950	
	唐松沢	500	0	2	0	0.20		0	500	500	
	那智畑	9,000	10	27	5	6.43		7,600	9,000	16,600	多久里橋、平成橋、平成橋2号橋、平成橋3号橋、那智畑橋、奥平沢橋、管蔵橋、那智畑橋、六乳橋、上穴乳橋
	タクリ沢	700	0	2	0	0.21		0	700	700	
	奥平沢	3,400	1	10	2	1.49		0	3,400	3,400	奥平橋
	長岩森	300	0	1	0	0.10		6,400	300	6,700	
	大荒川	7,300	2	22	4	3.19		300	7,300	7,600	堺ノ橋、清水橋
	霧地沢	4,500	4	14	2	2.90		0	4,500	4,500	霧地橋、岩谷ヶ洞橋、ナンナベ橋、赤似田橋
	南ノ又	2,577	1	8	1	1.22		0	2,577	2,577	南ノ又橋
	センノウ沢	1,300	0	4	1	0.47		44,700	1,300	46,000	
	亀ヶ森	1,500	0	5	1	0.57		3,700	1,500	5,200	
	桐内	4,536	3	14	2	2.57		46,000	4,536	50,536	桐内橋、下尻高沢橋、相ボラ橋
	小松倉	4,038	1	12	2	1.70		1,300	4,038	5,338	小松倉橋
	摺石	300	1	1	0	0.44		12,300	300	12,600	摺石橋
	摺石支線	200	0	1	0	0.10		0	200	200	
	奥取	300	1	1	0	0.44		0	300	300	奥取橋
	ナメリ沢	1,263	0	4	1	0.47		18,600	1,263	19,863	
	大仁田	433	0	1	0	0.11		7,700	433	8,133	
	三垂沢	600	0	2	0	0.21		11,900	600	12,500	
	万畑沢	6,678	0	20	3	2.26		13,300	6,678	19,978	
	大麻倉	1,200	0	4	1	0.46		6,600	1,200	7,800	
	高檜沢	1,700	2	5	1	1.25		2,600	1,700	4,300	滝ノ沢橋、上滝ノ沢橋
	砥草	6,383	6	19	3	4.16		0	6,383	6,383	アンニョカイ橋、猫小屋橋、剣ヶ峯橋、川原橋、薬師橋、砂場橋
高檜沢支線	2,476	1	7	1	1.13		0	2,476	2,476	砥草橋	
高桧山	1,502	1	5	1	0.90		0	1,502	1,502	高桧橋	
横倉	1,039	0	3	1	0.37		9,000	1,039	10,039		
達曾部	2,558	0	8	1	0.89		13,900	2,558	16,458		
中達曾部	500	3	2	0	1.20		0	500	500	大金沢橋、ヒバ沢橋、第1号橋	
禰沢	300	3	1	0	1.10		0	300	300	下禰沢橋、禰沢橋、上禰沢橋	
葛部	3,829	0	11	2	1.27		5,800	3,829	9,629		
鷹巣沢	1,070	0	3	1	0.37		0	1,070	1,070		
与部沢	6,491	0	19	3	2.17		0	6,491	6,491		
興助沢	861	0	3	0	0.31		0	861	861		
吉部沢	2,900	5	9	1	2.66		2,200	2,900	5,100	熊沢橋、材木沢橋、盲宿橋、百目木橋、鳥子沢橋	
小吉部	2,870	0	9	1	0.99		0	2,870	2,870		
逸角沢	4,800	0	14	2	1.59		0	4,800	4,800		
盲宿沢	3,083	0	9	2	1.06		0	3,083	3,083		
材木沢	2,386	1	7	1	1.13		0	2,386	2,386	天満橋	
早池峰	11,412	5	34	6	5.56		3,300	11,412	14,712	岩井沢橋、握澤橋、石合橋、御山川橋、奥早池峰橋	
小檜沢	3,200	1	10	2	1.48		0	3,200	3,200	前小檜沢橋	
関ヶ沢	5,900	1	18	3	2.38		0	5,900	5,900	添出沢橋	

令和7年度 国有林林道施設点検管理業務（岩手県） 対象路線

署等	林道名	点検延長(m)	点検施設			点検時間	移動距離(m)				点検対象橋梁等	備考
			橋梁等	溝渠	その他		高速道路	一般道	林道	計		
	七里河原	1,000	0	3	1	0.37		0	1,000	1,000		関ヶ沢林道から分岐
	西ノ沢	1,441	0	4	1	0.48		0	1,441	1,441		早池峰林道から分岐
	蔵の沢	7,217	5	22	4	4.18		0	7,217	7,217	ビキ沢橋、金山橋、大沢橋、上大沢橋、下合山橋	早池峰林道から分岐
	板小屋沢	2,126	0	6	1	0.69		0	2,126	2,126		蔵の沢林道より分岐
	ビキ沢	440	1	1	0	0.45		0	440	440	上ビキ沢橋	蔵の沢林道より分岐
	田代	600	0	2	0	0.21		4,600	600	5,200		起点から0.6kmまで通行可(通り抜け不可)
	桐ノ木沢	1,002	0	3	1	0.37		2,700	1,002	3,702		
	平沢	994	0	3	0	0.32		2,900	994	3,894		
	下澄沢	2,390	0	7	1	0.79		700	2,390	3,090		
	黒沢	2,290	0	7	1	0.79		6,400	2,290	8,690		入り口付近に落石有7月にチャーター予定
	寒風向沢	2,400	0	7	1	0.79		4,100	2,400	6,500		起点から2.4kmまで通行可
	岩井沢	1,000	3	3	1	1.37		2,500	1,000	3,500	第1号橋、第2号橋、サイモン沢橋	起点から1.0kmまで通行可
	火石山	1,500	0	5	1	0.57		0	1,500	1,500		岩井沢併用林道より分岐
	サキナシ沢	200	0	1	0	0.10		4,400	200	4,600		起点から0.2kmまで通行可
	二ノ又沢	1,116	1	3	1	0.71		9,700	1,116	10,816	二ノ又沢橋	
	藪川沢	400	1	1	0	0.44		2,400	400	2,800	藪川橋	0.4kmまで通行可
	御堂沢	1,000	0	3	1	0.37		1,400	1,000	2,400		
	西藪川沢	1,200	0	4	1	0.46		8,400	1,200	9,600		
	大馬ヶ沢	2,729	2	8	1	1.57		12,600	2,729	15,329	大馬ヶ沢橋、湖上橋	
	南の沢	5,144	1	15	3	2.08		1,800	5,144	6,944	南の澤橋	
	オンドコ沢	3,668	1	11	2	1.59		4,700	3,668	8,368	オンドコ沢橋	
	白滝沢	5,172	4	16	3	3.16		800	5,172	5,972	白滝橋、小医者待橋、ナラの木橋、医者待橋	
	黒岩沢	940	1	3	0	0.65		0	940	940	黒岩沢橋	白滝沢から分岐
	小医者待	4,417	0	13	2	1.48		0	4,417	4,417		白滝沢から分岐
	上の又	3,385	2	10	2	1.83		1,500	3,385	4,885	岩盛橋、松ヶ沢橋	
	下の又	3,515	0	11	2	1.25		0	3,515	3,515		上の又から分岐
	青松沢	8,000	3	24	4	3.73		15,700	8,000	23,700	青松沢橋、高倉橋、大曲沢橋	起点から8.0kmまで通行可
	中ノ沢	1,709	1	5	1	0.91		0	1,709	1,709	中乃沢橋	青松沢から分岐
	上五葉沢	1,279	0	4	1	0.47		4,400	1,279	5,679		
	下五葉沢	1,723	0	5	1	0.58		0	1,723	1,723		上五葉沢から分岐
	下雷沢	869	0	3	0	0.31		3,900	869	4,769		
	浦志内	4,500	3	14	2	2.57		500	4,500	5,000	浦志内橋、屋敷平橋、明神橋	起点から4.5kmまで通行可
	川崎	11,760	0	35	6	4.00		11,000	11,760	22,760		
	小繋	2,100	0	6	1	0.69		31,400	2,100	33,500		起点から2.1kmまで通行可。0.7km以降道幅減、普通車難あり。
	見内川	6,666	12	20	3	6.26		2,300	6,666	8,966	小屋の沢橋、岩見橋、山神橋、枯松沢橋、板小屋橋、小岩井橋、中折橋、上中折橋、下馬喰橋、青鹿橋、威武太橋、下	
	洋仙沢支線	800	0	2	0	0.22		0	800	800		見内川から分岐(0.8kmまで通行可)
	遅沢	5,050	0	15	3	1.74		21,400	5,050	26,450		落石有
	三沢	2,773	0	8	1	0.90		39,100	2,773	41,873		
	蝦夷森	2,413	0	7	1	0.79		2,000	2,413	4,413		
	湯草沢	1,560	1	5	1	0.90		16,600	1,560	18,160	湯草橋	
	滝ノ沢	2,000	0	6	1	0.68		46,300	2,000	48,300		起点から2.0kmまで通行可
								29,400		29,400		
小計	106	282,444	131	850	140	140.33	0	629,000	282,444	911,444		

令和7年度 国有林道施設点検管理業務（岩手県） 対象路線

署等	林道名	点検延長(m)	点検施設			点検時間	移動距離(m)				点検対象橋梁等	備考
			橋梁等	溝渠	その他		高速道路	一般道	林道	計		
三陸中部署	末崎	1,440	3	4	1	1.48		7,600	1,440	9,040	飛定地橋、末崎橋、樺橋	
	樹内沢	2,387	1	7	1	1.13		17,100	2,387	19,487	樹内第一橋	
	宝鏡小黒山線	2,800	0	8	1	0.90		14,800	2,800	17,600		
	小坪沢	4,305	0	13	2	1.47		19,100	4,305	23,405		
	鬼丸	3,129	0	9	2	1.06		12,600	3,129	15,729		
	小牧沢	5,611	0	17	3	1.94		15,600	5,611	21,211		
	天望沢	4,063	4	12	2	2.70		1,200	4,063	5,263	天望沢橋、小天望沢橋、高倉橋、垂氷乃橋	
	篠倉沢	2,400	4	7	1	2.13		2,500	2,400	4,900	広沢橋、篠倉沢橋、雄滝橋、武士水沢橋	
	武士水沢	700	1	2	0	0.55		0	700	700	平成橋	篠倉沢林道から分岐
	外ナガトロ沢	499	1	1	0	0.45		0	499	499	外ナガトロ橋	篠倉沢林道から分岐
	辰砂沢	10,931	0	33	5	3.73		11,400	0	11,400		種山側から荷沢側に抜ける
	樺山	6,988	0	21	3	2.37		100	6,988	7,088		
	遠端	3,139	0	9	2	1.06		0	3,139	3,139		樺山林道から分岐
	火の土	1,474	0	4	1	0.48		0	1,474	1,474		樺山林道から接続
	小松峠線	1,660	0	5	1	0.58		21,600	1,660	23,260		
	有住倉	3,000	0	9	2	1.05		2,800	3,000	5,800		23林班ち小班まで通行可
	黒森山	1,663	0	5	1	0.58		13,900	1,663	15,563		
	北川目	2,558	0	8	1	0.89		30,100	2,558	32,658		
	中川目	6,683	2	20	3	2.93		800	6,683	7,483	中川目橋、中松倉橋	
	アサヒサシ沢	1,137	0	3	1	0.38		2,000	1,137	3,137		
	南川目	1,000	0	3	1	0.37		1,200	1,000	2,200		アサヒサシ沢林道より分岐、南川目付替林道部分のみ点検、116林班ち2小班まで通行
	小長水	2,900	0	9	1	0.99		30,400	2,900	33,300		124林班い2小班(法面崩壊箇所)まで通行可
	大平	3,800	0	11	2	1.27		4,200	3,800	8,000		牝岳沢橋まで通行可
	クル沢	1,800	0	5	1	0.59		11,400	1,800	13,200		大森沢林道分岐まで
	二又	820	1	2	0	0.55		2,300	820	3,120	青ノ木橋	
	笛吹	1,738	0	5	1	0.58		5,000	1,738	6,738		
	沼ヶ沢	3,967	0	12	2	1.36		1,800	3,967	5,767		
	青ノ木	2,582	0	8	1	0.89		0	2,582	2,582		沼ヶ沢林道と接続
	初神第1	4,237	0	13	2	1.47		4,400	4,237	8,637		
	赤坂	4,526	0	14	2	1.57		0	4,526	4,526		初神林道から分岐
	マガリトチ沢	3,600	0	11	2	1.26		4,000	3,600	7,600		147林班い1小班まで通行可
	小鏡川	15,000	0	45	8	5.15		12,000	15,000	27,000		156林班ろ小班の国有林境から100m先まで通行可
平田徳並	6,781	0	20	3	2.27		0	6,781	6,781		小鏡川林道より分岐	
金沢	900	0	3	0	0.31		1,500	900	2,400			
安瀬の沢	7,991	0	24	4	2.73		2,000	7,991	9,991			
折合	5,500	3	17	3	2.93		2,400	5,500	7,900	葛内橋、上葛内橋、金治内橋		
ヒヤマ沢	1,200	1	4	1	0.80		5,900	1,200	7,100	水吸橋	水吸橋より先通行止め	
戸沢	1,100	0	3	1	0.37		1,300	1,100	2,400		モモトリ沢まで通行可	
下屋敷	3,040	0	9	2	1.05		13,400	3,040	16,440			
大宮沢	700	1	2	0	0.55		7,100	700	7,800	大宮沢橋	203林班い小班作業道付近まで通行可	
尺丈沢	700	0	2	0	0.21		4,400	700	5,100		国有林界まで通行可能	
榎内	1,120	2	3	1	1.04		1,600	1,120	2,720	榎内沢橋、中榎内橋		
辺地ヶ沢	1,300	0	4	1	0.47		1,900	1,300	3,200		国有林界まで通行可能	
浪板	2,790	0	8	1	0.90		7,600	2,790	10,390			
							53,800		53,800			
小計	44	145,659	24	434	73	57.53	0	352,800	134,728	487,528		
総計	150	428,103	155	1,284	213	197.86	0	981,800	417,172	1,398,972		